



プラネタリウムからの挑戦状



全問正解できるかな？

第1問

夏の大三角のアルタイル（わし座）とデネブ（はくちょう座）の間には「こぎつね座」があります。このこぎつねがくわえているのは何？

- ① ガチョウ
- ② パン
- ③ 宝石

第2問

南斗六星（なんとろくせい）と呼ばれる星の並びがある夏の星座は？

- ① さそり座
- ② いて座
- ③ やぎ座

第3問

今年（2021年）9月21日は旧暦（きゅうれき）で何の日？

ヒント：秋の月



第4問

今年（2021年）9月の夜9時頃、南の空に太陽系の惑星が2つ見ごろとなっています。1つは「土星」もう1つは何？

- ① 水星
- ② 木星
- ③ 金星

第5問

12月下旬ごろまで、太陽が沈んだ後の西の空で金星が明るく光っています。金星は地球と太陽の間にある太陽系の惑星です。この星のことを何という？

- ① 外惑星（がいわくせい）
- ② 中惑星（ちゅうわくせい）
- ③ 内惑星（ないわくせい）





プラネタリウムからの挑戦状 答え合わせ



何問正解できたかな？

第1問

答：① ガチョウ

現在では「こぎつね座」となりましたが、考えられたころは「ガチョウをくわえたこぎつね」などと呼ばれていたそうです。星座の中では比較的新しい星座のため、神話などは伝わっていません。また、4・5等級ほどの暗い星ばかりで、その姿を見つけることは難しい星座です。

第2問

答：② いて座

南の空にある、いて座の腕から弓にかけての6つの星の並びは、北の空にある、おおぐま座の星の並び「北斗七星」に対し、「南斗六星」と呼ばれています。



← いて座の星座線
黄色い星でたどった星の並びが「南斗六星」

※「斗」とは、ひしゃくを意味しています。



第3問

答： 中秋の名月

旧暦の8月15日の月のことをいい、十五夜（じゅうごや）とも呼ばれています。現在の暦では、今年（2021年）は9月21日が中秋の名月に当たります。旧暦では7～9月は秋の季節とされていました。その真ん中にある8月を「中秋」といい、8月15日の夜に上るきれいな月のことを「中秋の名月」と呼びます。



第4問

答：② 木星

今年（2021年）は、9月中旬、南の空で土星と木星が明るく光っています。

- ・土星は大きな環があることで有名な惑星です。太陽系で2番目に大きい惑星です。
- ・木星は木目のような縞模様が特徴的です。太陽系で1番大きい惑星です。

第5問

③ 内惑星（ないわくせい）

地球と太陽の間を回る惑星のこと。反対に地球よりも太陽から離れている惑星のことを外惑星（がいわくせい）と呼びます。※中惑星という言葉はありません。

